

取扱説明書

! 車への取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼してください。

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取付・配線や取り外しを行ったり、指定以外の部品を使用すると、事故やケガ・故障の原因となる場合があります。この場合、弊社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 《カーオーディオ/カーナビゲーション商品》

【固定電話から】 **0120-944-111**(無料)

【携帯電話・PHSから】 **0570-037-600**(ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7540(IP電話・有料)

■ファックス **0570-037-602**(ナビダイヤル・有料)

■インターネットホームページ <https://jpn.pioneer/ja/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.08

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8

文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2019

< KYTZ19F > < BY02E094-0 >

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。

(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

連絡先については、弊社ホームページをご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着(お取り外し・お取り付け)について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。

なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません(保証期間内含む)。販売店、または取付店にご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

使用上のご注意

- 本機の取り付け、ご使用にあたっては、本機を接続する製品の「安全上のご注意」もお読みください。
- 本製品は車室内取付用正像タイプです。
- 車室外には取り付けしないでください。
- ダッシュボードの上には取り付けしないでください。
- エアコンの噴出し口の周辺には取り付けしないでください。
- リアガラスに取り付けるときは、熱線には取り付けしないでください。また、熱線が画面に表示されないようフロアカメラの角度や取付位置を調整してください。

- リアガラスに取り付けるときは、赤外線 LED を点灯させないでください。
- フロアカメラは赤外線を使用したカメラのため撮影された映像の色は実際の色と異なります。
- 取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて事故の原因になります。ときどき点検してください。
- フロアカメラの取付状態を走行前に点検してください。
 - ・ネジがゆるんでいないか
 - ・接着面がはがれかけていないか走行中にフロアカメラがはがれると事故の原因になります。

仕様

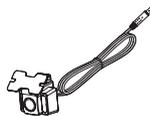
使用電源：	DC 14.4 V (10.8 V ~ 30.2 V 使用可能)
最大消費電流：	160 mA 以下
出力映像：	正像
撮像素子：	カラー CMOS センサー
画素数：	約 30 万画素
画角：	
水平：	約 137°
垂直：	約 100°
対角：	約 181°

S/N：	46 dB
動作温度範囲：	- 10 °C ~ + 60 °C
外形寸法：	31.5 (W) mm × 22.0 (H) mm × 21.0 (D) mm
質量：	240 g (電源ケーブル含む)
ケーブル長：	
フロアカメラ本体ケーブル：	0.5 m
RCA 映像出力 / 電源ケーブル：	9 m

メモ

- 本機の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が一部異なる場合があります。

接続・取り付け部品を確認する



フロアカメラ
ユニット × 1
(ケーブル長 0.5 m)



RCA 映像出力 /
電源ケーブル × 1
(ケーブル長 9 m)



六角レンチ
(2.5 mm) × 1



クリーナークロス
× 1



クランパー × 3

取り付ける前に

取り付け上のご注意

- 湿気が多いときは、取り付け面を乾燥させてから作業を行ってください。取り付け面に水気がありと接着力が低下してはがれる恐れがあります。
- ピラーにエアバッグを搭載している車両の場合は、絶対にピラーを取り外さないでください。エアバッグの誤動作などの原因となり大変危険です。ピラーを取り外せずにフロアカメラを取り付ける方法について、詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 粘着テープの取付強度を確保するため、取付後 24 時間以上放置してから使用してください。
- 取り付け後、24 時間以内は次のことを守ってください。
 - ・水をかけないでください。
 - ・フロアカメラに無理な力を加えないでください。
- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。
- フロアカメラは、落としたり、レンズ部分に触れたりしないよう、取り扱いには十分ご注意ください。

- 作業場所は、空気中にゴミ、ほこりなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低いときやガラスがくもっている場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチを ON にしてガラスを暖めておいてください。

両面テープは、一度貼り付けると粘着力が弱くなるため貼り直しできません。必ずフロアカメラを仮留めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

- 下図の六角ネジは、修理の際にカメラ部のみを取り外すために使用します。取り付け時や普段のご使用時には、緩めたり取り外したりしないでください。



カメラ部取り外し用
六角ネジ

取り付け

ブラケットの取り付け位置について

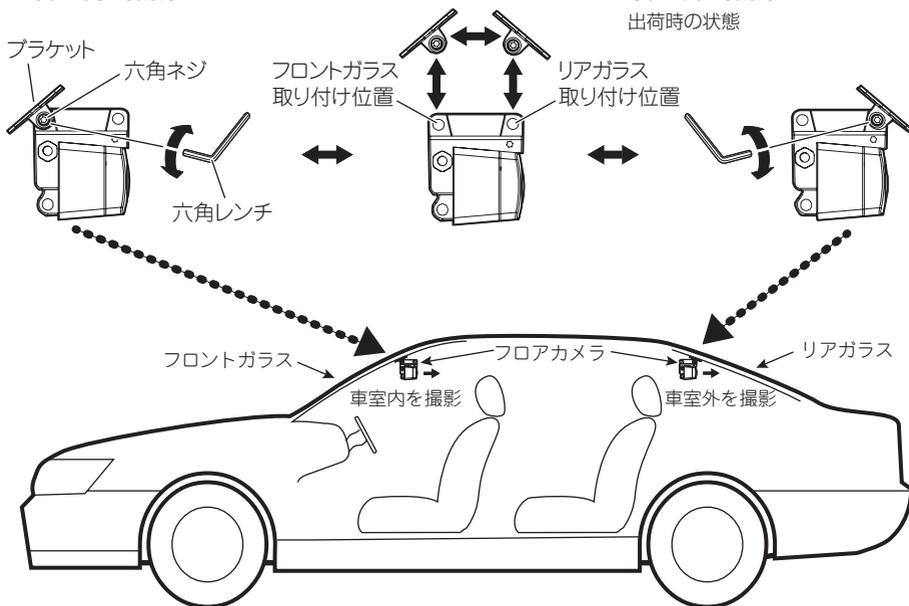
本機は、ブラケットの取り付け位置を変更することでリアガラスへの取り付け（車室外を撮影）またはフロントガラスへの取り付け（車室内を撮影）を選ぶことができます。

出荷時はリアガラス取り付け用としてブラケットが取り付けられています。

1 付属の六角レンチで六角ネジを回してブラケットを取り外し、ブラケットの取り付け位置を変更する

■フロントガラスに取り付ける場合
（車室内を撮影）

■リアガラスに取り付ける場合
（車室外を撮影）



取り付け準備

1 フロアカメラの取り付け位置を決める

2 貼り付け面の汚れをふきとる

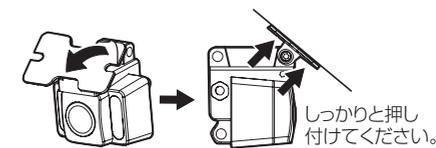
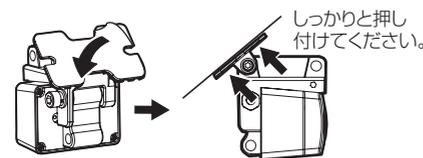
付属のクリーナークロスで、貼り付け面に付着している油膜やワックス、ほこりなどの汚れをふきとります。

3 ブラケット裏面の裏シートをはがして、ガラスに貼り付ける

ブラケットを指で押し、貼り付け面を密着させてください。接着面に手を触れたり、貼り直したりすると、接着力が低下してブラケットがはがれる恐れがあります。

■フロントガラスに取り付ける場合
（車室内を撮影）

■リアガラスに取り付ける場合
（車室外を撮影）



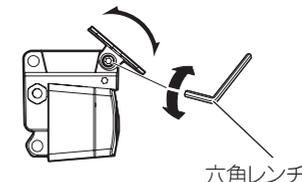
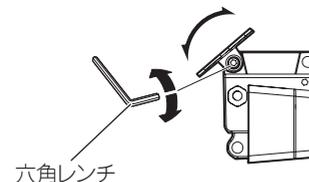
メモ

- リアガラス(車室外)に向けて取り付けの場合は、赤外線 LED 点灯用端子を外してください。
→次ページ「接続図」

4 付属の六角レンチで六角ネジを緩めて角度を調整し、六角ネジをしっかりと締めて固定する

■フロントガラスに取り付ける場合
（車室内を撮影）

■リアガラスに取り付ける場合
（車室外を撮影）



取り付け (つづき)

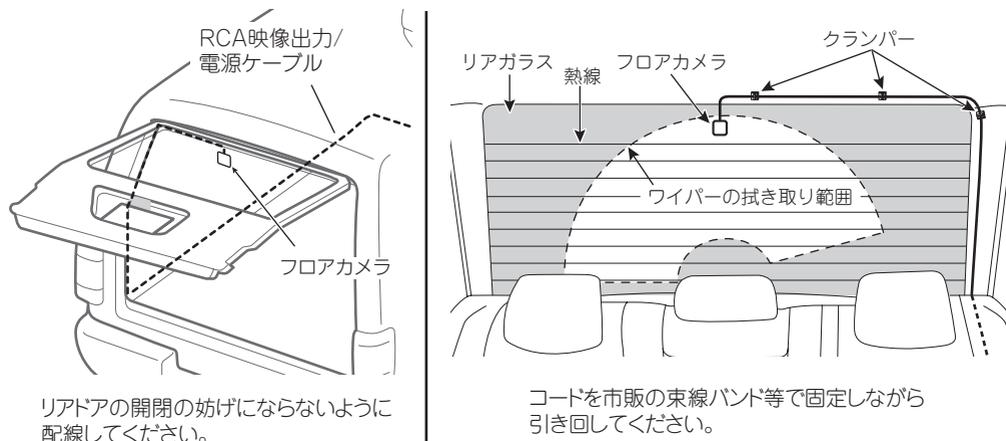
ご注意

- 運転に支障が無く、安全な視界が確保できるようにケーブルを引き回してください。
- 危険ですので、運転席の足元には、配線を引き回さないでください。
- ラジオ・テレビにノイズが入る場合は車両のアンテナからフロアカメラのケーブルを離してください。
- 製品に付属のクランパーなどを取り付ける部分は、付属のクリーナークロスで、ほこり、油膜などをふきとってください。

リアガラス取り付け推奨位置

本機をリアガラスに取り付ける場合、以下の条件を全て満たす車両および位置への取り付けを推奨します。

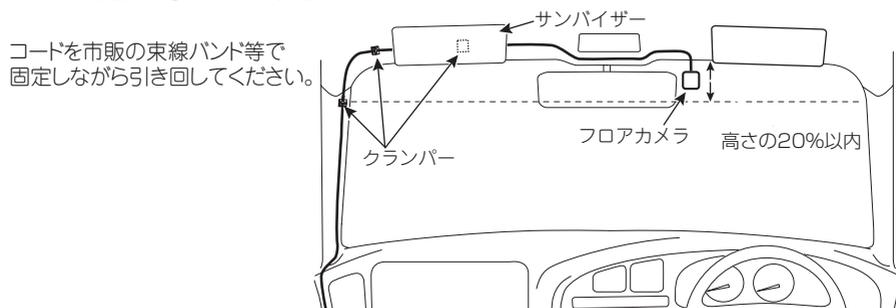
- 本機のレンズ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
- 本機のレンズ部分および両面テープが熱線と重ならない位置
- ケーブルが無理なく引き回せる位置



フロントガラス取り付け指定位置

本機をフロントガラスに取り付ける場合、以下の条件を全て満たす車両および位置に取り付けてください。

- 本機の全体がフロントガラスの高さの上縁から20%以内の位置（ウエザ・ストリップ、モール等と重なる部分およびマスキングが施されている部分を除く実長の20%以内の範囲）
- 車検ステッカーと重ならない位置
- 運転手の視界の妨げにならない位置
- ケーブルが無理なく引き回せる位置



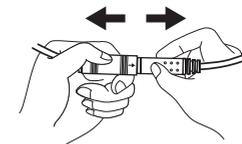
接続する

コネクターの着脱のしかた

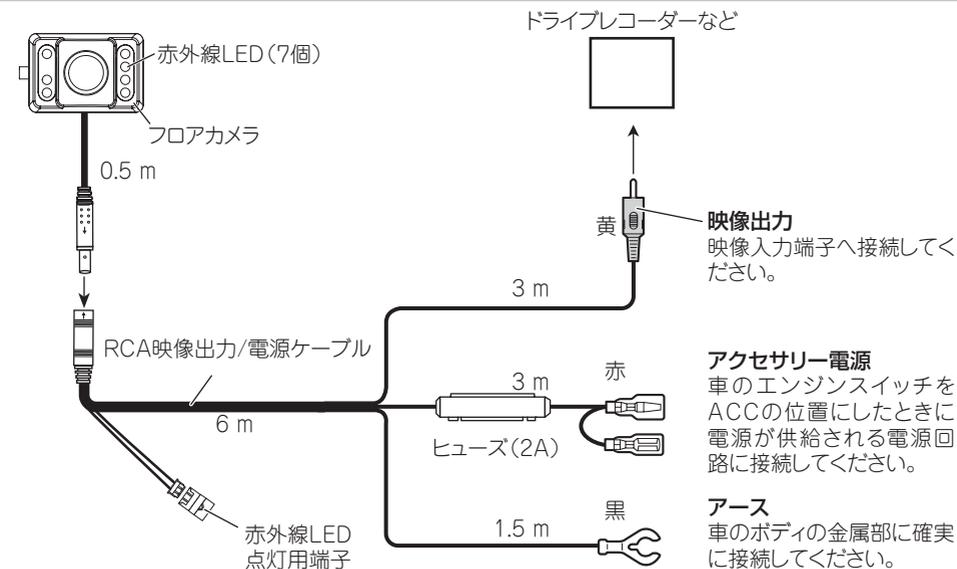
- コネクターは矢印の位置を合わせてからしっかり奥まで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、コネクターの矢印の位置を確認してください。（無理に挿入すると故障の原因となる場合があります。）



- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持って、引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続図



ご注意

- フロアカメラをリアガラスに取り付ける場合（車室外を撮影）は、赤外線LED点灯用端子を外してください。
- 取り外した赤外線LED点灯用端子およびカバーは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- 取り外した赤外線LED点灯用端子およびカバーは、大切に保管してください。
- 赤外線LEDの点灯を目視で確認することはできません。デジタルカメラを通すとカメラによっては点灯を確認できる場合があります。
- ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。
- 電源リード線のヒューズから本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。